

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」高砂事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		対面を避け工夫した座席配置を行っている。	
	②	職員の配置数は適切である	○		適切に配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		玄関前に段差はあるが小さいスロープを設けている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日、清掃消毒を実施している。	手が行き届いていない部分もあり、念入りに取り組んでいきたい。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎日事業所内で会議を実施、情報共有を行う。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		利用者様向けに満足度調査のアンケートを実施し、業務改善に努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所の事をブログに上げている、保護者向け評価の結果を踏まえブログを作成する。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在第三者による外部評価は実施していない、今後必要であれば実施する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		入社時の初任者研修や全職員が研修及び事例検討会に参加している。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		聞きとりを行いアセスメントを進め、個別支援計画書作成を行っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		年度毎にアセスメントシートを活用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに沿い、個々の利用者様の状態把握を行い支援内容を設定している。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画書に沿って支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		必要に応じて相談しながらプログラムを組んでいる。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		内容が固定化しないように相談や会議を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別だけでなく、集団の要素も入れプログラムを作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日によっては個々で行う場合もある。	時間を設け全職員で事前に内容を共有するようにしたい。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	連絡ツールを使い内容の共有をしている。翌日に情報共有を行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎支援後に記録をしている。	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングを6か月毎に行い、個別支援計画書を作成、更新している。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管や管理者が参加し、担当指導員と会議に参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		医療的ケアが必要な子どもの利用無し。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要な子どもの利用無し。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			就学前には学校や園に連絡し情報を共有できるようにしている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要性があれば連絡をとり情報共有を行う。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			機会があれば今後参加していきたい。

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	コロナもあり、イベント事を行う事はできていない。	活動の際にはプライバシーに配慮しながら行いたい。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○	振り返りの時間を長く取っている。	支援後のフィードバック時に保護者より聞きとりを行い情報を共有する。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○	利用契約時や毎月の請求書類配布時に必要に応じて説明を行っている。	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○		計画書作成時、更新時には説明と同意をいただき、署名と捺印を頂いている。
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	要望があれば個別に相談に応じて記録に残している。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	行いたいがいまだ実現にはいたっていない。	
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		○	ご相談の内容や対応について契約時に説明を行っている。	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	Line やブログを使い外部へ発信している。	
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している		○	鍵付きの書庫に厳重に保管している。個人情報を含む書類はシュレッダーしている。	
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	一方的な言葉や高圧的な言葉にならないようにしている。	
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
	非常時等の	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	掲示物として提示している。マニュアルに準じて年1回職員研修実施。
㉞		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	月に1回防災訓練を実施している。年に3回利用	

対応				者も参加して頂き防災訓練実施している。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	アセスメントシートにて聞きとりし状態把握を行っている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	食事、おやつ提供はしていない。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	事案発生あれば情報共有し、書類保管を行っている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	年に1回研修を実施している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	契約時に説明を行い身体拘束同意書を頂いている。研修も行っている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」高砂事業所

保護者等数（児童数）：12名 回収数：9名 割合 75 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	0	0	0	十分だと思います、広すぎず狭すぎず良いと思います。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1	0	0	個別にしっかりと対応していただいている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	0	0	0	こどもに分りやすくなっているので大丈夫です。周りがすぐ気になる子なので見えないような配慮がなされている。十分なスペースで学習させていただいている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	0	全体的に優しいので厳しい課題も入れてもらいたいです。	フィードバック時や指導員間の共有を図り、課題設定を行います。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	1	0	0	日によって違うけれども、必要な学習をされていると感じる。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	3	3	認定こども園に通園している。	きらり広場やイベントを行い、今後交流する機会を作りたい。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	0	0	0		

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	1	1	5	あっても下の子がいるので参加しづらい、過去に受講したことがある。	フィードバック以外にも保護者様とご相談する時間を設けたい。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	0	0	0	色々な相談を聞いてもらえて安心できます。学習の後にアドバイスをいただいたり、困っていることの相談に乗っていただいたりしている。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	3	0	0	アドバイスを聴けたりして助かります。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	3	5		きらり広場やイベントにて交流する機会を設けたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	1	0	0	相談に乗っていただいている。皆さん親切でとても相談しやすいし、園での様子なども報告しやすい。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	0	0	2		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9	0	0	0		
	非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	1	0	2	周知説明は受けました、訓練の実施については存じません。説明はあったけど訓練はしたことないのでやった方がよいと思います。
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	1	3	入所してまだ間もないので、まだ今の所はありません。	防災訓練の案内を周知し定期的実施しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	9	0	0	0	先生とお勉強の後にコミュニケーションをとるのが楽しみになっている。勉強すれば遊べると思っている。遊ぶ方を楽し	

							みにしているが、勉強も遊びに近く楽しそうに見える	
㊸	事業所の支援に満足しているか	8	1	0	0	<p>楽しむのも大事だが、決めた目標に向けて、結果が出るように少しずつアップしていった欲しいです(課題のマンネリ化)。</p> <p>大変満足している、もう少し入る日数を増やしたい。</p> <p>親だと素直に聞いてくれない部分もあるので、きりりさんで楽しみながら色々体験させてもらえるのがありがたいです。</p>	計画に基づき、目標に向けて繰り返し行う必要性や理由をフィードバック時に説明していきたいと思えます。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。